

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

愛媛県愛南町 愛南町国保一本松病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
18,573	3,752	第2種該当	-	20:1

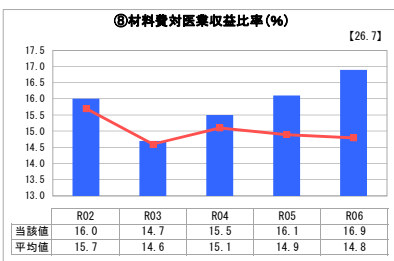
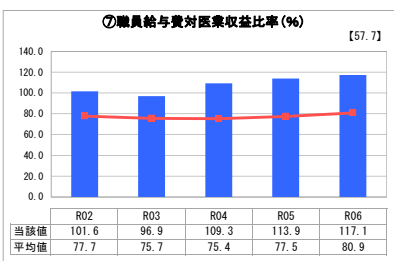
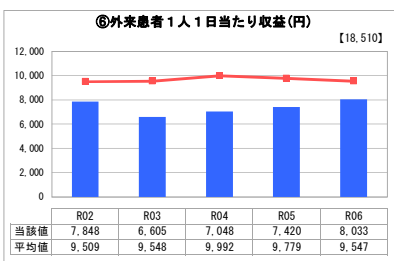
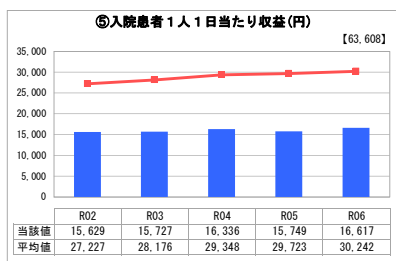
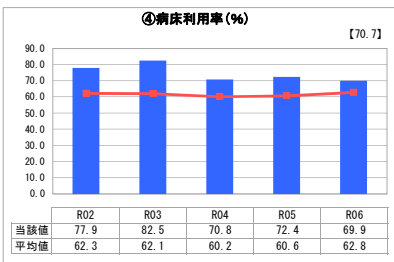
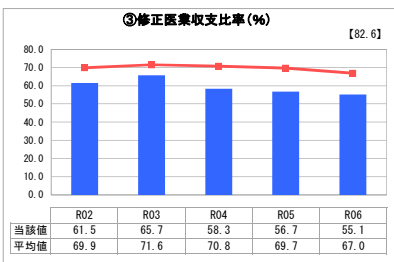
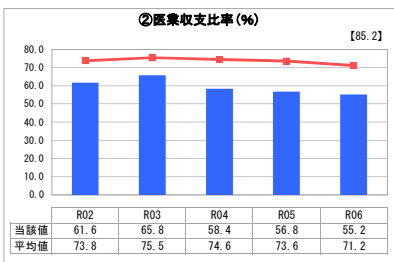
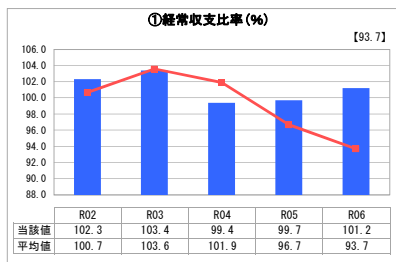
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

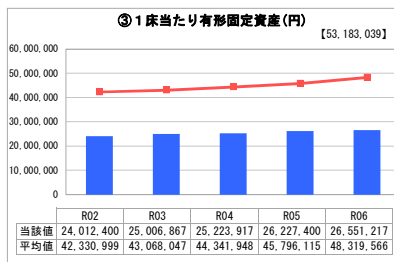
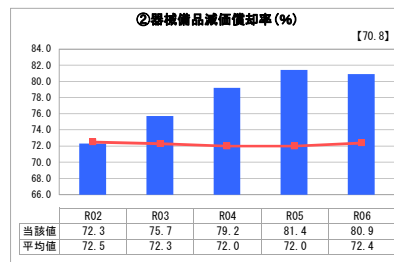
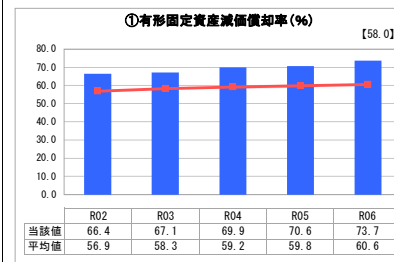
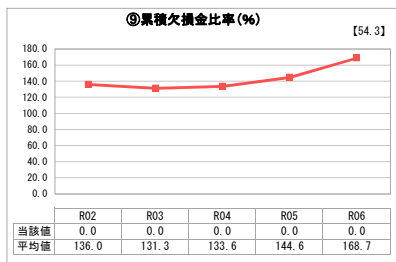
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	60
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	54	54

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の関係・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

愛南町で療養病床を有しているのは本院のみであり、長期療養が必要な患者を受け入れている。  
また、町内で唯一の二次救急医療機関である県立南宇和病院の医師不足が深刻な状態であることから、当院医師が宿直等の業務支援に携わり、県立病院医師の業務負担軽減などを通じて地域医療の充実に努めている。  
半島部の無医地区での出張診療も行っており、住民の医療に対する不安の解消に努めている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を上回っているものの、医業収支比率は類似病院の平均より低くなっており、一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状態となっている。  
病床利用率は類似病院の平均より高いが、入院患者は減ってきており減少傾向にある。  
職員給与費が医業収益に占める割合は、医療従事者の確保や給与改定により年々高くなっている。材料費が医業収益に占める割合も高く、類似病院の平均をはるかに上回っており、調達や管理を見直していく必要がある。  
累積欠損金は発生しておらず健全な経営運営ができています。

#### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、類似病院の平均より高く、また、年々増加しており、施設の老朽化が進んでいる。  
機械備品については、使用年数の長い機械備品が多くなっており、計画的に更新を行ってはいるが、類似団体の平均を大きく上回っている。

### 全体総括

入院患者は減少傾向にあったが、令和6年12月にコロナウイルス及びインフルエンザのまん延から入院患者の受け入れを一時制限していた。低迷した状態が続いている。当院は入院収益の比率が低い傾向にあるため、今後は入院患者の積極的な受入に努め安定した医業収益の確保に努めていきたい。そのためにも医療従事者が不足することのないよう、引き続き雇用の確保を図っていく必要がある。  
また、病院施設は老朽化が著しく、今後、建替えも視野に入れて対応を検討していくこととしている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。